

【関空発15日間／福岡発16日間】

# デラックス・バスで巡るトルコ・バス大周遊3000キロの旅



昔ながらの家並みを残すサフランボル。ひしめきあうように赤屋根の家々が建ち並びます

## ここにご注目。旅のポイント

- 1 快適なデラックス・バスを利用し、3000キロの道を走破。バスならではの旅情を味わう旅です。
- 2 イズニックやサフランボル、ジュマルクズクなど通常のコースでは訪れにくい街や村も丹念に訪ねます。
- 3 イスタンブールやサフランボルなど自由散策を楽しむ場所では旧市街まで徒歩圏内のホテルをご用意しました。

## ツアープランナーより

トルコは日本の約2倍もの国土を持ち、人類最古の宗教施設からオスマン帝国の建築に至るまであらゆる時代の史跡から美しい自然景観まで各地に点在している、大変に見所が多い国です。一般的な人気の観光地をツアーで巡る際、効率よく国内線航空機を利用するのほひとつの方法。他方、ゆっくり時間をかけながらバスで周遊するのもまた魅力的です。道中、目にするトルコの風土はより旅の印象を深く濃く縁取り、3000キロを走破した達成感バスの旅でしか味わえない醍醐味です。またバスの旅だからこそ、有名観光地ばかりではなく、注目を集めないものの、味わい深い小さな町や村に立ち寄れるのも大きなメリットです。15日間の長旅になりますが、連泊を主体にした日程を組み、移動のお疲れを軽減すべく、デラックス・バスを利用します。旅好きの方にご注目いただきたいトルコ周遊コースです。



九州支店 副田有花

## 宿場町として栄えた世界遺産の古都サフランボル

シルクロードの中継地であり、オスマン帝国時代の14世紀から17世紀にかけて宿場町として栄えたサフランボル。黒海沿岸から近く、昔は香料サフランの集積地であったことから「サフランの町」という意味でサフランボ

ルと名付けられ、発展しましたが、近代化の波には取り残されてしまいました。しかしそれが奏功し、今も伝統的な木造家屋や隊商宿の跡が残っています。世界文化遺産に登録されたこの町に、2連泊してご案内します。

## モスクを彩るタイルの産地イズニック

325年にキリスト教史最初の公会議が開かれた町であり、オスマン帝国の最初のモスクが建てられた歴史の町。オスマン帝国下で数々のモスクを彩った特産のイズニックタイルは、世界最古の手工芸品のひとつです。



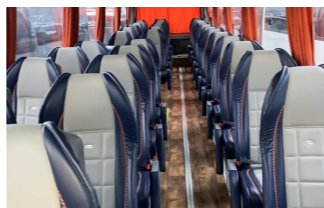
イズニックタイルの技法はカラフルな陶器にも

## 移動にはデラックス・バスを利用します

座席の配列が2-1列のため、車内の通路が広くゆとりがあります。シートは革張りです。上質感のあるつくりです。お手洗いや充電器も完備されています。



快適なバス旅行をお楽しみください



ゆとりのある車内の座席

## オスマン朝発祥の地、世界遺産ブルサに連泊します

バスでおよそ3000キロを走破して辿り着くのが、オスマン帝国最初の都ブルサです。イスタンブールからマルマラ海を挟んだ向かいに位置するこの古都はシルクロードの要衝として栄え、紀元前にはマケドニア王国とも交流のあった歴史の深い町です。オスマン朝の初代から第5代までのスルタン廟が残され、大帝国の第一歩を後世に伝えていま

す。ツアー締めくくりの連泊地にふさわしい古都です。



ピンク色の外壁が印象的なウル・ジャーミー

## ギリシャ神話ゆかりのアフロディシアス

名はそれほど知られていませんが、アフロディシアスもトルコの世界遺産のひとつであり、古代ギリシャ・ローマ時代の大きな都市のひとつでした。紀元前一世紀、ローマの将軍スッラがデルフィの神託に従い女神アフロディーテに斧と金の冠を奉納したことによって、その名がつけられました。近くに大理石の採掘所があり、大理石の輸出で大きな富を得ました。素

晴らしい保存状態の遺跡をお楽しみください。



紀元前3世紀の都市遺跡が今も残るアフロディシアス



イスタンブールでは旧市街の中心に2連泊。修復を終え公開が始まったブルーモスク(左)、歴代オスマン朝の皇帝が暮らしたトプカプ宮殿(右)など、最旬スポットへご案内します

## ご宿泊ホテル

- **イスタンブール：スラ・アヤ・ソフィア**  
イスタンブール旧市街の中心に位置するホテル。ブルーモスクまで徒歩5分程と抜群の立地を誇ります。
- **サフランボル：カドゥオール・シェフザデー・コナックラル**  
※シャワーのみの客室となります。
- **カッパドキア：ウチヒサル・カヤ**  
岩を掘って造られた「洞窟風ホテル」。レストランからは「妖精の煙突」と言われる奇岩群の景色を一望できます。客室はホテルの性質上、手狭となります。
- **コンヤ：グランド・ホテル・コンヤ**
- **パムッカレ：パム・サマル・ホテル・クリニック&スパ**
- **イズミール：ウィングダム・グランド・イズミール・オズディレック**
- **チャナッカレ：パリオ・ホテル** ※シャワーのみの客室となります。
- **ブルサ：アルミラ・ホテル**
- **【福岡空港よりご参加のお客様・15日目】**  
関西空港近郊・関西エアポートワシントンホテルまたはアストンプラザ関西空港

※バス停付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。  
※世界遺産に登録されたサフランボルは景観指定などの制限がある為、大型ホテルは存在せず、伝統建築を改装したホテルでの宿泊となります。そのため、他の宿泊地に比べ、全般的な設備は相当劣ります。何卒お楽しみください。

利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ、日本国内線：ピーチ Peach ツアーコード：UC030Q

集合・日数・出発日	旅行代金	
<b>【関西空港集合・15日間】</b> 10月8日(火)	エコノミークラス利用 <b>¥598,000</b>	ビジネスクラス利用 <b>¥1,078,000</b>
<b>【福岡空港集合・16日間】</b> 10月8日(火)	エコノミークラス利用 <b>¥613,000</b>	ビジネスクラス利用 <b>¥1,093,000</b>
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥150,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：関西空港～イスタンブール間往復適用		
燃油サーチャージ別途目安：¥87,200/2月1日現在		

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	福岡空港14:00発→ 関西空港15:10着 関西空港21:50発→	午後、福岡空港より関西空港へ。 夜、関西空港より、ターキッシュエアラインズの直行便にてイスタンブールへ。	宿泊地・食事 (機中泊) □□機
2	イスタンブール 05:00着 (トプカプ宮殿) (イスタンブール考古博物館)	朝、イスタンブールに着後、市内観光へ。 2022年に一部初公開されたハーレム内部を含め、 <b>トプカプ宮殿</b> を見学。 ご宿泊は旧市街に位置する便利な立地のスラ・アヤ・ソフィアをご用意しました。【2連泊】(イスタンブール旧市街地区泊) 朝昼夕	
3	イスタンブール (アヤ・ソフィア寺院) (ブルーモスク) (地下貯水池)	本日は旧市街地区の見どころへご案内。2020年からモスクに戻された <b>アヤ・ソフィア寺院</b> 、2023年に修復を終えた <b>ブルーモスク</b> 、ギリシャ・ローマ時代のコレクションが充実している <b>イスタンブール考古学博物館</b> 、新たに公開された <b>テオドシウスの地下貯水池</b> を見学します(注1)。 (イスタンブール旧市街地区泊) 朝昼□	
4	イスタンブール08:00着 (タイルの町イズニック) サフランボル17:30着	午前、訪れる機会が少ない古都 <b>イズニック</b> へ。着後、 <b>エイシル・モスク</b> 、 <b>イマレティ博物館</b> 、そしてオスマン朝最古の歴史を誇る <b>ハジュ・オズベク・モスク</b> などの観光。その後、サフランボルへ。 【2連泊】(サフランボル泊) 朝昼夕	
5	サフランボル (トルコ有数の古い町並み散策)	ご希望の方は、街の素顔に出会う朝の散歩にご案内します。午前、 <b>サフランボル</b> 市街の観光。オスマン朝時代の古い町並みが時がとまったかのように残る <b>旧市街の散策</b> にご案内します。午後、自由行動。 (サフランボル泊) 朝□夕	
6	サフランボル08:00着 (アンカラ:アナトリア文明博物館、アタチュルク廟) カッパドキア17:30着	午前、トルコの首都 <b>アンカラ</b> へ。着後、 <b>アナトリア文明博物館</b> 、 <b>アタチュルク廟</b> の見学。その後、 <b>カッパドキア</b> へ。宿泊は静寂の奇岩群に囲まれた <b>洞窟風ホテル</b> をご用意しました。 【2連泊】(カッパドキア:洞窟風ホテル泊) 朝昼夕	
7	カッパドキア (要塞村ウチヒサル) (地下都市カイマクル) (絶景のローズバレー)	早朝、ご希望の方は <b>カッパドキアの夜明け</b> を一緒にご覧いただけます(注2)。本日は <b>カッパドキア</b> の見どころへご案内します。○ <b>要塞村ウチヒサル</b> 、 <b>ゼルベの谷の奇岩群</b> や、 <b>暗闇の教会</b> 、地下都市 <b>カイマクル</b> などお楽しみください。夕刻、カッパドキアのなかでも絶景で知られる <b>ローズバレー</b> へ。夕暮れの景観をお楽しみください(注2)。 (カッパドキア:洞窟風ホテル泊) 朝昼夕	
8	カッパドキア08:30着 コンヤ12:00着 (メヴラーナ博物館、アラアッティン・モスク)	午前、アナトリアでも唯一の宗教都市として発展した <b>コンヤ</b> へ。着後、旋舞祈禱で知られる教団ゆかりの品が展示される <b>メヴラーナ博物館</b> 、 <b>アラアッティン・モスク</b> などを見学します。 (コンヤ泊) 朝昼夕	
9	コンヤ08:00着 パムッカレ13:30着 (ヒエラポリス遺跡) (絶景の石灰棚)	午前、美しい石灰棚と古代遺跡で知られる <b>パムッカレ</b> へ。着後、ペルガモン王国以来の聖なる都市 <b>ヒエラポリス遺跡</b> の見学へ。夕刻、石灰棚へ。夕暮れ時のピンクに染まった景観をご覧ください(注2)。 (パムッカレ泊) 朝昼夕	
10	パムッカレ08:00着 (アフロディシアス遺跡) (エフェソス遺跡) イズミール17:00着	午前、紀元前3世紀の都市遺跡 <b>アフロディシアス</b> を訪れます。その後、エフェソスへ向かいます。着後、 <b>エフェソスの古代遺跡</b> 、および <b>考古学博物館</b> へ。見学後、イズミールへ。 (イズミール泊) 朝昼夕	
11	イズミール08:30着 (ベルガマ遺跡) (トロイ遺跡) チャナッカレ17:00着	午前、ベルガマへ。着後、ロープウェイにてアクロポリスの丘へ上がり、ヘレニズム文化の集大成ともいえる <b>ベルガマ遺跡</b> を見学します。その後、木馬の伝説で知られる <b>トロイ遺跡</b> に立ち寄りチャナッカレへ。 (チャナッカレ泊) 朝昼夕	
12	チャナッカレ08:30着 (オスマン時代の古い村・ジュマルクズク) ブルサ15:00着	午前、オスマンの古都 <b>ブルサ</b> へ。着後、700年の歴史を誇るオスマンの古い村、 <b>ジュマルクズク</b> の散策。午後、早めにホテルへ。 【2連泊】(ブルサ泊) 朝昼夕	
13	ブルサ (オスマン朝発祥の地、ブルサのんびり見学) (ウル・ジャーミー、オルハンガーズィー霊廟、ブルサ・バザール)	終日、オスマン朝発祥の地、 <b>ブルサ</b> の落ち着いた行まいの町をお楽しみください。 <b>ウル・ジャーミー</b> 、 <b>オルハンガーズィー霊廟</b> 、 <b>ブルサ・バザール</b> など多くの見どころがあります。 (ブルサ泊) 朝昼夕	
14	ブルサ14:00着 イスタンブール 16:00着	午前、自由行動。のんびりとお過ごしください。昼食後、バスにてイスタンブール旧市街へ。着後、 <b>リュステムパシャ・モスク</b> 、 <b>エジプシャンバザール</b> の散策と夕食へご案内します。その後、イスタンブール空港へ。 (機中泊) 朝昼夕	
15	イスタンブール02:00発→ 関西空港20:00着	深夜、ターキッシュエアラインズの直行便にて帰国の途へ。 夜、関西空港到着。着後、関西空港よりご参加のお客様は解散。 <b>福岡空港よりご参加のお客様は関西空港着後、各自、関西空港近郊のホテルにチェックイン。</b> (関西空港近郊泊) 機機□	
16	関西空港08:50発→ 福岡空港10:05着	各自ホテルチェックアウト後、関西空港へ。 関西空港より福岡空港へ。 □□□	

※日程表の福岡空港、関西空港の往復はピーチ Peach 利用の場合です(2024年2月1日現在のスケジュール)。他の航空会社を利用の場合は、発着空港および時刻、日程は異なります。  
(注1) アヤ・ソフィア寺院、ブルーモスクは宗教施設であり、入場者の制限をしているため、大変混みあう場合があります。状況によっては早朝を含め、観光時間を替えてご案内する場合があります。  
(注2) 天候により、ご覧いただけない場合もございます。

## ご旅行条件とご注意

- 最少催行人員：10名様
- 食事：朝食12回、昼食12回、夕食12回
- 添乗員：(関西空港からご出発のお客様) 関西空港ご出発時から関西空港ご到着時まで同行します。(福岡空港からご出発のお客様) 福岡空港ご出発時から関西空港ご到着時まで同行します。
- バスポート必要残存有効期間：入国時150日以上
- バスポート査証未使用欄：1ページ以上

